

協業法人化により地域酪農の継承・発展を目指す 株式会社 虹の郷(標茶町)



(「虹の郷」社屋)

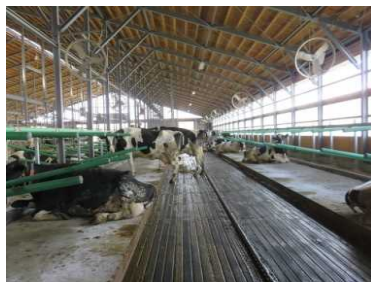
◇【取組の経緯と概要】

- ◆ 標茶町^{にじべつ}虹別地区において農家の高齢化・後継者不足が深刻化
- ◆ これらの問題を抱えていた虹別地区の3戸の農家が平成26年3月、協業法人(※)化を検討(後に若手農家1戸が参画)
- ◆ 平成26年11月、虹別地区の4戸の農家で協業法人「株式会社 虹の郷」を設立
- ◆ 平成28年4月から生乳生産を開始

(※) 2戸以上の世帯が共同で出資し、収支決算まで共同で行っている法人

【取り組む際に生じた課題と対応方法】

- 施設整備等で多額の借入金が必要になることから、一部の農家から、協業法人化に否定的な意見
- ⇒ JA等の協力を得ながら、綿密な事業計画及び借入金返済計画を作成し、関係者間で数度の話し合いを行い、協業法人化への合意を形成



(フリーストール牛舎)



(ロータリーパーラー)(※)
(※) 乳牛を乗せたターンテーブル上で搾乳する方式

【組織等の概要】

- 代表取締役：穴戸 豊
- 所在地：川上郡標茶町字虹別原野585-1
- 従業員：6名
- 資本金：400万円
- 経営面積：240ha(採草地)
- 飼養頭数：乳牛300頭(平成28年10月1日現在)
- 主な施設・設備：フリーストール牛舎1棟、乾乳・治療牛舎1棟、搾乳棟1棟、搾乳排水処理施設1式、スラリーストアー1基、バンカーサイロ11槽、ロータリーパーラー1式、バルククーラー2台、発情発見機1式、ミキサーフィーダー1台
- 連絡先TEL：(015)488-2295

【取組の成果】

- フリーストール牛舎導入により牛がストレスなく自由採食できる環境となり一頭当たり乳量が1日当たり約10kg増加
- ロータリーパーラー導入により搾乳時間が従前のシステムと比較し約1/3に短縮
- 乳質改善、繁殖管理等各構成員の得意分野を活かした役割分担により、作業の効率化を図り、労働負担を軽減
- 虹別地区で離農農家の農地を引き受け、地区の飼料生産基盤を強化

【活用した支援施策】

- 畜産競争力強化対策整備事業 (H27)
- 畜産収益力強化緊急支援事業 (H27)

【今後の展望】

- 平成31年度までに経産牛を約470頭、経営面積を約350haに規模拡大
- 新規就農者を迎え入れ経営陣の代替わりをしながら継続的な生乳生産を確保
- 「虹の郷」を核とし、集落一体で生産基盤を継承